

福井 たかまさ

県議会活動レポート | Vol.06

Takamasa Fukui Report

ご挨拶 | 深緑の候 皆さまにおかれましては ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また 日頃より私の政治活動に多大なるご支援を賜っておりますことも重ねて心より感謝申し上げます。

さて この度たくさんの方々のご理解とご協力により 宮城県でも新型コロナウイルス感染症が5月8日から5類へ移行することとなりました。引き続き 感染予防に努めながら 経済活動を再開していくため 今後も県民の皆さまとこの難局を乗り越え 新しい日常生活を共に歩んでいけるよう県政の場で なお一層尽力してまいりたいと思います。

数々のご支援に感謝を申し上げ 今後とも地域の発展に貢献し 議会活動に取り組んでまいります。

引き続きご支援 ご助力を賜りますよう よろしくお願ひ申し上げます。

令和5年6月吉日 福井 たかまさ

▶ 新型コロナウイルス感染症 支援情報ナビ

宮城県では、新型コロナウイルス感染症の影響でお困りの企業や県民のみなさまに向けて、宮城県および国の支援情報を探すことができるサイトを設置しております。業種や分野別の情報、市町村ごとの関連情報もまとめておりますので、お仕事や生活に役立てて頂ければ幸いです。



詳しくは
右記のQRコードからも
アクセス可能です。



<https://miyagi-pref.covid19.supportnavi.jp>

▶ 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う変更点について

詳細は https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/5rui_iko.html



推奨する療養期間(健康観察期間) PDF



令和5年5月8日以降に体調が悪化した場合、診断された医療機関にご相談するか、「受診情報センター(0120-056-203(24時間受付))」にご相談ください。

宮城県議会議員 福井 崇正(ふくい たかまさ) プロフィール

● 常任委員会／経済商工観光委員会 副委員長

経済商工観光部の分掌に属する事項
及び労働委員会の所管に属する事項

● 特別委員会／みやぎデジタル社会創造調査特別委員会 委員

- 付議事件
デジタル社会の創造に関する諸施策について
- 想定される調査事項
・DX推進による暮らしやすい社会の実現のための諸課題
・産業のデジタル化における諸課題
- 昭和53(1978)年 4月22日生まれ、山形県新庄市出身
- 平成13(2001)年 東北工業大学建築学科卒業
- 平成13(2001)年～平成15(2003)年 住宅メーカー勤務
- 平成15(2003)年～平成31(2019)年 衆議院議員土井とおる先生の下、秘書として15年間政治を学ぶ
- 公益社団法人仙台青年会議所 特別会員
- 仙台青葉まつり実行委員会
- SENDAI光のページェント実行委員会 ● 3.11キャンドルナイト実行委員会
- 仙台日仏协会会员 ● 宮町商店街振興組合 贊助会员
- 国見リトルベアーズスポーツ少年団顧問…等、
仙台市内のまちづくりボランティア活動に積極的に参加

〈宮城県議会議員 福井たかまさ事務所〉

〒989-3125 宮城県仙台市青葉区下愛子字二本松19-12 TEL 022(797)7875 FAX 022(797)7876 E-mail tfukui1978@gmail.com

Facebook、またはTwitter、LINE、Instagramでも政治活動をご覧いただけます。 | <https://www.fukui-takamasa.com> 福井たかまさ



Facebook

人口減少社会に於ける様々な挑戦 躍進する宮城！世界に誇れる宮城へ！

■ 第387回県議会(令和5年2月定例会) 一般質問

県職員の資質向上（政策立案、生産性向上、業務の効率化）について

Q 福井 人口減少に突入する一方、海外では人口増加が進み、人材確保競争が激化していきます。そのような難局を乗り越え、どのようにわが県が躍進する姿を世界に発信できるのかその認識について伺います。

A 村井知事 國際関連施策の基本的指針「みやぎ国際戦略プラン」をつくり、国際化に向けた取組を進めてきました。震災を乗り越え未来に向けて歩みを進める姿や、生活環境、豊かな自然、文化などを積極的に発信し、宮城の素晴らしさに関する世界の認知度を高めることが必要です。

国際交流に加え、海外販路の開拓、誘客など我が県の情報発信に努めており、今年5月に開催されるG7仙台科学技術大臣会合など、あらゆる機会で宮城の魅力をアピールして参ります。

Q 福井 県庁や民間企業等への職員派遣は、様々な知見を県に還元できるメリットがあるが今後の方向性はどうか。



A 村井知事 職員が貴重な経験を積むことは、今後の人口減少や社会変化に対応するためのとても重要な機会です。人材育成と県の目標達成を両立できるよう、時代に合った新たな派遣先を検討し、省庁や民間企業、自治体との人事交流を積極的に行っていきます。

Q 福井 県職員の新たな働き方を導入すべきと思うが今後の展開はどうか。

A 村井知事 働く場所の選択肢の拡大は、働き方改革や仕事と生活のバランスを改善し、多様な人材を確保していくうえで大変重要と認識しています。このため、県では令和2年度に在宅勤務制を導入したほか、昨年度からワーケーションの試行を行っています。テレワーク・リモートワークについては、育児や介護などの事由に限らず、すべての職員が実施できるよう制度を見直します。

Q 福井 執務環境の改善は県民サービスの向上にも寄与すると思うが、今後の進め方は。

A 村井知事 執務環境の整備に向け、県庁内の3所属を対象にモデル事業を実施しています。令和5年度からテレワーク・リモートワークの際にも出勤時と同様のインターネット環境の下で業務できる民間サービスを導入し検証を行うなど執務環境を整えます。

多様な人材の参入促進について

Q 福井 県として主体的に技能実習生の受け入れ環境を整備すべきであり、一元的な管理体制が必要では。

A 村井知事 在住外国人が増加している現状を踏まえ、国



際政策課において、在住外国人と地域住民との交流事業や、地域における日本語教育体制整備、様々な文化の理解を深めるなど、環境整備を進めています。国においては、技能実習制度の趣旨と実態の差が認められ、今年の秋頃までに最終報告がまとめられると伺っています。国の動向を注視し在住外国人と地域住民のコミュニケーション創出など、地域の受入環境の整備に努めます。

県の観光施策について

Q 福井 ライトアップイベントの実施をはじめ、大倉ダムなどの県管理ダムを活用した観光振興についてどうか。

A 村井知事 大倉ダムについては、今年春の試験点灯において視認性を確認した上で、令和6年度から本格導入を目指しており、地域住民や地元自治体、観光事業者等と連携し、渋滞対策など受入体制の整備についても検討する予定です。ダムが持つ観光需要を踏まえ、地域振興や交流人口の拡大に向けても取り組みます。

※一部簡略化して掲載しています。

宮城県議会だより

検索



「みやぎ県議会だより」はこれからご覧いただけます。令和2年度よりウェブ版「みやぎ県議会だより」を発行しており県議会をより身近に感じていただけるような紙面構成としています。

宮城県議会中継

検索



宮城県議会の傍聴に関しましては、新型コロナウィルス感染症対策にご配慮いただく状況が続いておりますが、現在はスマートフォンやタブレット端末でも議会中継をご覧いただけますのでぜひご活用下さい。